

## (2) 林業人財

## プロジェクト 林業の新たな担い手確保・育成

## 目標

・年間新規就業者 H29～R3平均：90人 → R10：110人

## 挑戦する内容

- ・青い森林業アカデミーの継続的な運営
- ・学生等を対象とした林業出前講座や仕事体験会等による魅力発信
- ・建設業や造園業、製材業者など他業種からの参入促進
- ・「林業ベンチャー」※の育成
- ・青い森林業アカデミーの機能強化

※林業ベンチャー：  
苗木づくりや造林・育林、  
伐採、コンサルなどを小規模かつマルチに行う事業者

関係者の声  
＝対話

- ・労働力不足で新規雇用したいが確保が難しい（林業事業体）
- ・原木の安定入手のため、森林取得を進めており、自ら森林整備に取り組みたい  
(製材業者)
- ・雇用者確保のためには他産業並みの労働条件や賃金水準が必須、林業は人目に付きづらく仕事内容がイメージできないため就職先の選択肢に入りにくい  
(林業労働力確保支援センター)
- ・アカデミーの講師体制や研修施設などの機能強化を図り、安定した指導をすべき  
(アカデミー運営協議会委員)

## 役割分担

- ・森林組合、林業事業体：雇用環境の改善、経営基盤の強化
- ・県、労確センター：アカデミー運営、普及啓発、就業支援

## 変革後の姿

- ・若年就業者のほか、林業ベンチャー等多様な担い手が確保

## 令和7年度計画

## 挑戦する内容

- 1 青い森林業アカデミーの継続的な運営
  - ・青い森林業アカデミー将来構想(青い森林業アカデミーNextVision(仮称))の作成
  - ・研修内容、研修施設、研修機材、研修フィールド、指導体制及び林業関係団体の連携体制など将来を見据えた持続可能な将来構想を作成
- 2 学生等を対象とした林業出前講座や仕事体験等による魅力発信
  - ・高校生等を対象に、林業の仕事に関する講義のほか、チェーンソーや高性能林業機械の操作体験を実施
- 3 建設業や造園業、製材業者など他業種からの参入促進
- 4 林業ベンチャーの育成
  - ・林業ベンチャーの意見交換会の開催
- 5 青い森林業アカデミーの機能強化
  - ・青い森林業アカデミーの指導体制整備
  - ・若手指導者の育成



林業分野への就職相談



玉切り作業の訓練状況

## 対話

- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（7月、1月）
- ・青い森林業アカデミー運営協議会を開催し、外部委員からの意見等を事業構築に反映（10月、1月）